

令和元年度
大学生の力を活用した集落復興事業活動報告書
南会津町 湯ノ花地区

拓殖大学政経学部長友昭ゼミナール



目次

1. 前年度の活動	3
2. 湯ノ花の課題	3
3. 実証実験内容	4
4. 今年度の活動	5
5. 湯ノ花の魅力カード	5
6. 今後の課題	6
7. まとめ	7

1,前年度の活動

前年度は、湯ノ花地区の方々と交流や、地域の散策、見学を行い、魅力と問題点を探った。その結果いくつかの問題点を発見した。

2,湯ノ花の課題

- 人口減少・少子高齢化
- 所有者不明の土地・空き家問題

人口減少により所有者不明の土地や空き家などの問題が生じている。これらの問題を解決するためには関係人口を増やすことが必要である。



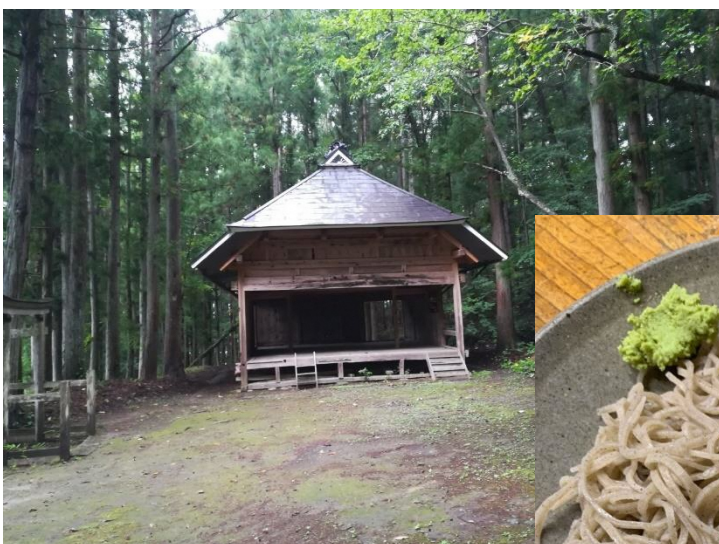
3,実証実験内容

どうしたら関係人口が増えるのか

湯ノ花地区に魅力がたくさんあることは判明しているが、そもそも来ていただかなければならない。しかし、魅力があることをホームページや SNS で発信するというのはすでに行われている。つまり、それだけでは足りないので、プラス α が必要だと考える。そこで、長ゼミではダムカードを参考にした湯ノ花の魅力カードを作成する。

ダムカードというのは、国土交通省が発行しているダムの写真と簡単な紹介の書いてあるカードである。ダムに行った記念が欲しいというダム愛好者の要望をうけて作られた。

そこで、湯ノ花にも来た記念になるようなカードを作成し、配布する。カードを季節ごとに変えたり、催し物のときだけ配布するカードを作ったりすれば、リピーターがつくのではないだろうか。



4,今年度の活動

今年度は、もう一度魅力を発見しつつ、カードにしたいものの選定と写真撮影を行った。そのうえで、地域の方と面談を行い、今回の実証実験の説明を行った。その中で、湯ノ花周辺もカードにしているのではないか、という意見がでた。そこで、曲家集落や有名な酒蔵の訪問、道の駅でのお土産の調査を行った。

また、冬にもう一度訪問した。前回撮り損ねた写真の撮影と冬景色の撮影を行った。前回よりも多くの地域の方に集まっていたいただき、もう一度面談を行った。そこで、カードを作るなら、初めからクオリティの高いものを作らなければ続かないといった厳しい意見や、まずは来てもらうのが大事だという意見が出た。

5,湯ノ花の魅力カード



カードのモデル

表面には各ゼミメンバーが選んだ魅力の写真となっていて、裏面は、その撮影者が書いた説明文となっている。この写真は、大学生や若者が気軽に湯ノ花を訪れて、スマートフォンで撮影するようなイメージで撮影している。今のところ、各ゼミメンバーが選んだ魅力は、そば畑、栽ちそば、大嵐山・湯ノ倉山登山口、湯ノ花舞台、えごまソフトクリームである。

6,今後の課題

今後の課題としては、カードの設置場所とその管理方法があったが、冬期の訪問の際の面談で、商店や民宿に設置する目途が立った。また、冬景色の撮影も完了した。ただし、カードのクオリティについて意見が割れるなど新たな課題が生じた。カードを集めていただいた方へ、何か特典のようなものも用意したい。



7,まとめ

湯ノ花地区には魅力がたくさんあるが、その中に四つの温泉がある。ところが、そのうちの石湯という温泉が川岸にあり、今年の台風で流出してしまった。幸いなことに建物自体の再建は終わっているが、現在募金を行っているので協力したい。

今回の実証実験を通して、湯ノ花の方々と面談をし、色々な意見を聞かせていただいた。少しずつでも変えていきたいという意見や、初めが肝心だという意見など程度のずれは多少ながらあったものの、やはり共通の意見として、人に来てほしいということだった。他の地域でなくこの湯ノ花に足を運んでいただくために、プラスαとしての湯ノ花の魅力カードはかなり有効だと思う。湯ノ花の方にも賛同していただき、地域の方の撮影した写真の提供なども提案していただいた。今はまだ種類が少ないが、種類を増やしたり、カードの情報を載せた地図を作ったりするなど、まだまだできることはあると感じた。

